

真宗大谷派 長浜教区 11・12月

# 第24組 広報

発行日  
2017年11月1日  
第180号  
発行責任者  
組長 美濃部俊裕

## 日々「お陰様」の気持ちで

組門徒会会長 安居 重晴



過日、浄教寺の同朋会で歎異抄の勉強会が連続して開催されました。難解な言葉に苦慮しながら、その場ではある程度理解できたつもりが時を過ぎると「何だったかな」で終わってしまいそうで、折を見て復習の意味で教材を読んでいます。

ところで、私の母もよく言っておりましたが、真宗では「信心をいただく」という言葉をよく聞きます。これは、自分の目的、志向、欲望の先に浄土は存在しないという意味で、幸せになりたい、功德を得たい等の願望を成就させるために手を合わす、いわゆる信仰を意味するものではなく、信心とは「私が信じるのではない」ということを言われているのだと思います。

歎異抄の第2章で親鸞聖人は、「私は本当に念仏が往生の種になるのか、念仏を唱えて、浄土に往生できるのか地獄に墮ちるかは知らない、私はただ法然上人の教えに従うばかり・・・」という聖人の立場でその主旨を言われています。そこには、浄土往生が、もはや問題ではなく捨てきれない煩惱によって多くの苦悩を抱え、生かされ、救われている私がいることに気づきなさい。という聖人の思いが溢れ出ているのではと感じました。日々、生かされ生きている喜びを心に「お陰様で」の気持ちで過ごしたいと思います。

さて、24組の中には、先人の方々が汗を流し大切に育て守って来られた数多くの土徳が生きているところでもあります。この財産の経緯を知り、次世代に伝え、お寺を守ってゆくことが課題であると考えます。このことを踏まえ、24組独自の門徒会研修会（お寺訪問）を12月に開催することを幹事会で決定させて頂きました。詳細のご案内は後日お届け致します。お寺を訪問し地元の歴史を知る良い機会です、多くの方に参加いただきたいと思います。

また、「元気なお寺創り」活動の展開として、24組内のコミュニティを構築し社会的ネットワークを立ち上げて活動情報や地域情報などを発信して、スマートフォンやパソコンで容易に情報を見ることができる、ホームページ「真宗大谷派 長浜教区 第24組」を11月に開設できる運びとなりました。本山、教区ともにリンクで結び、あらゆる活動報告や寺業案内などを閲覧することが可能となります。詳細は次号で詳しく紹介されますのでご期待ください。

真宗大谷派 長浜教区第 24組 ホームページ

<http://nagahamakyoku24.main.jp>

# 平成29年度教化委員

No.	部会等	幹事	氏名	所属寺	備考
1	教化委員長	●	美濃部俊裕	来入寺	組長
2	教 導	●	秦 信映	明德寺	
3	寺族部会	●	熊野 俊史	了覚寺	副組長
4		●	谷 寿子	誓海寺	坊守会長
5			川那部茂子	浄教寺	坊守会副会長
6			松尾 淳	覚念寺	
7			松浦 整	明源寺	
8			西野健太郎	充滿寺	
9			禿 恵至	円行寺	
10		門徒部会	●	安居 重晴	浄教寺
11	●		川隅 治	明楽寺	門徒会副会長
12	●		片山 敏晴	双林寺	会計
13			水上喜久男	猶存寺	門徒会幹事
14			堀江 正雄	残景寺	門徒会幹事
15			富岡 司	来入寺	門徒会幹事
16	●		山田美恵子	長照寺	婦人会長
17			大橋 節子	明楽寺	婦人会副会長
18	●		神田 廣章	明德寺	プロジェクト24 部長
19			奥手 亨	円常寺	プロジェクト24 副部長
20			山岡 和弘	報春寺	プロジェクト24
21			西川 広子	恩覚寺	山河サンガ団長
22	青少年部会	●	禿 里和	円行寺	
23			藤谷 法子	明楽寺	
24			田川 恵美	長照寺	
25			中之庄博美	来入寺	プロジェクト24
26	社会部会	●	高山 明朗	了覚寺	門徒会幹事
27			弓削 専治	妙覚寺	門徒会幹事
28			七里 従三	立圓寺	門徒会幹事
29	広報部会		秦 信明	明德寺	
再掲			富岡 司	来入寺	門徒会幹事
		●	水上喜久男	猶存寺	門徒会幹事

## 24組「推進員養成講座」の現状報告



24組では、長浜教区の指定を受けて、本山主催の「推進員養成講座」を去る9月2日に開講しました。会場の来入寺に組内13カ寺より28名の受講者と7名のスタッフ等総勢40名が集いました。午後7時より真宗宗歌斉唱の後、お勤めがあり、続いて美濃部組長より挨拶がありました。オリエンテーションでは、永井長浜駐在教導と秦組駐在教導より趣旨説明があり、その後、講師、スタッフ紹介、班別の確認等が行われました。講師から、今回のテーマの「私がこれから大事にしたいこと」を踏まえて、計5回のサブ

テーマが次のように提案されました。

- 第1回 寺と私 - 「風景」化した寺
- 第2回 寺の歴史 - どうして寺が生まれたか
- 第3回 人と人をつなぐ寺 - 念仏がつくる社会
- 第4回 真宗門徒とは - 手を合わせる暮らし
- 第5回 次世代に伝えたいこと - 本当の幸せとは

第2回目は、9月23日に明德寺（黒田）に於いて、第3回目は、10月14日に充滿寺（西野）に於いてすでに開催され、第4回目は、10月28日に長照寺（唐川）で、第5回目は、11月25日に円行寺で予定されています。

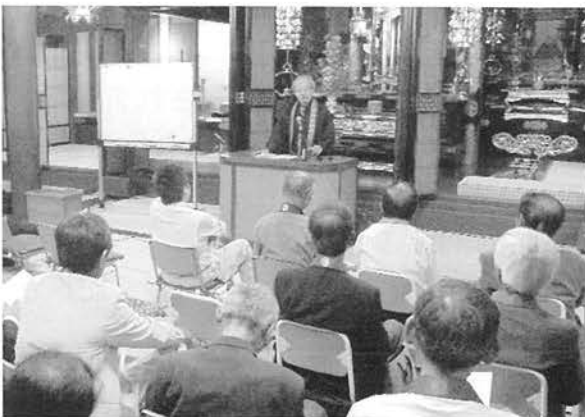
研修内容は、老泉俊樹講師から問題提起の講義を受け、その後4班に分かれて座談会が活発に行われています。最後にまとめの講義を受け、閉会の後、続いて講師とスタッフが、問題点や課題を話し合っ、次回への取り組みにつないでいただいています。最終は後期講習として、12月8日～10日の2泊3日の日程で上山奉仕を行い、修了となります。有意義な研修となっています。



## 組門徒研修会報告

去る9月16日午後7時30分より、大音の誓海寺様において第1回組門徒研修会が開催されました。長浜教区主催の事業で、教区派遣講師として京極真了師（米原市多和田即往寺住職）をお招きしました。

講師は、真宗大谷派の歴史の中で、婦人部が誕生した経緯やその願いをお話くださいました。そして前年度から宗門のさらなる男女共同参画の推進をはかるため、女性の組門徒会員選出について、全国の寺院に呼びかけてこられましたが、なかなか難しい現状であることを紹介されました。



また、「帰敬式（おかみそり）」についても、生前中に受式することが大切であることをお話されました。受式して「法名」をいただきますが、男性には「釈」、女性には「釈尼」とつけられます。それは、お釈迦様の仏弟子となった名告りであり、仏教徒としての歩みをはじめるといふ誓いでもあると教えていただきました。更に、聖徳太子が制定された「十七条憲法」についてもお話があり、とても有意義な研修会でした。

今回お聞きしたお話を参考にして、私達も今後の門徒会活動にいかしていきたいと思いました。（広報委員：富岡 司）

# 各寺の法座の案内

寺院	法座名	期日	法話者
浄教寺(東阿閉)	報恩講	12月1日(金)~3日(日)	高山 崇氏(2日15時)
覚勝寺(西阿閉)	報恩講	11月11日(土)~12日(日)	住職
円行寺(西柳野)	報恩講	11月3日(祝)~5日(日)	藤原 勲氏(大阪教区)
随願寺(柳野中)	永代経	12月9日(土)10時30分	住職
	報恩講	12月9日(土)~10日(日)	住職
妙覚寺(東柳野)	報恩講	12月1日(金)~3日(日)	堀澤 俊行氏
双林寺(西物部)	報恩講	11月22日(水)13時	住職
梅龍寺(磯野)	報恩講	11月18日(土)~19日(日)	住職
本宗寺(磯野)	報恩講	11月11日(土)~12日(日)	住職
猶存寺(布施)	報恩講	11月17日(金)~19日(日)	住職
長照寺(唐川)	報恩講	11月18日(土)~19日(日)	高岡 淳氏・住職・副住職
円常寺(千田)	報恩講	11月10日(金)~12日(日)	住職
来入寺(千田)	報恩講	11月10日(金)~12日(日)	住職 11日19時山河サンガ
明德寺(黒田)	報恩講	11月18日(土)~20日(月)	貴山 明氏
樹徳寺(田居)	報恩講	11月3日(祝)~6日(月)	秦 信映氏
誓海寺(大音)	報恩講	11月10日(金)~12日(日)	住職
明源寺(今市)	報恩講	11月11日(土)~12日(日)	住職

## 組の事業

事業名	日時	場所	備考
婦人会本廟奉仕	11月7日(火)~8日(水)	本山・同朋会館	指導:本山会館教導
門徒会本廟奉仕	11月7日(火)~8日(水)	本山・同朋会館	指導:本山会館教導
推進員養成講座⑤	11月25日(土)19:00	円行寺(西柳野)	講師:老泉俊樹師(高須別院輪番)
坊守会自主研修	12月3日(日)午後	浄教寺(東阿閉)	講師:未定 親鸞聖人の御生涯
推進員養成講座後期講習	12月8日(金)~10日(日)	本山・同朋会館	講師:老泉俊樹師(高須別院輪番)
門徒会研修会②	12月16日(土)13:00	明楽寺(木之本)	組内お寺訪問

敬  
弔

去る 9 月 20 日、木之本町赤尾の西徳寺前住職、磯野泰恵氏が入寂されました。氏は、昭和 59 年より組長を務められ 24 組の教化組織の確立や具体的な教化活動の推進にご尽力くださいました。

ご生前のご活躍のお姿を偲び、ただただ念仏申すばかりです。

謹んでお悔やみ申し上げます。

(秦 記)

◎取材を求められる場合は組長までお知らせください。広報委員が寄せて頂きます。